

平成29年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	亀田清掃センター附属休憩所及び運動公園		
管理者名	愛宕商事・グリーン産業グループ	指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日
担当課	廃棄物施設課		
所在地	新潟市江南区亀田1835番地1		
根拠法令	地方自治法第244条の2第3項		
設置条例	新潟市廃棄物処理施設附属施設条例		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 休憩所(敷地面積 2,200㎡) 施設規模 構造 鉄筋コンクリート造平屋建 延床面積 808㎡ 建築面積 868㎡ 施設内容 <ul style="list-style-type: none"> ・休憩室(85畳) ・多目的ホール(85㎡) ・浴場(ジェットバス機能)×2 ・更衣×2 ・ロビー ・ドリンクコーナー ・事務室 ・駐車場60台 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動広場(敷地面積 27,100㎡) 施設規模 (一面)11,403㎡ 施設内容 <ul style="list-style-type: none"> ・運動広場(軟式野球場とサッカー場兼用) ・芝生広場 ・用具室 ・ランニングコース(1周約450m) ・トイレ ・遊具 ・駐車場20台(一般廃棄物処理場用地) 	

施設設置目的

ごみ焼却場の余熱を利用した入浴設備を備えた休憩所(田舟の里)と遊具や野球場とサッカー場を兼用できる運動広場を備えた運動公園で地域住民のレクリエーション施設として健康増進と憩いの場を提供することを目的として設置

管理・運営に関する基本理念、方針等

- 施設の設置目的を理解し、魅力ある施設運営を目指すための運営方針及びサービス提供、地域経済への貢献、効率的な考え方、そのほかこの業務に関わる独自のアイデアを有すること。
- 公の施設の管理運営を安全かつ継続して行える能力及び財務体質を有すること。
- 個人情報保護のための管理体制を整えること。
- 業務に見合った管理体制で職員の資質向上のための定期的な研修等ができる体制を整えること。
- 施設の現状を踏まえ、継続的な維持管理を行い施設内の衛生管理及び浴室等のレジオネラ属菌対策等を適切に行うこと。
- 施設の設置目的を踏まえ、施設全体の利用促進とサービス向上の工夫、特に多目的ホール等の利用率増加に向けた取り組みをすること。
- 遊具等付帯設備・備品類の安全点検及び緊急時に備えた各種訓練を定期的に行い、そのほか災害・事故等の予防策を考え、緊急時に対応する体制を整えること。
- 利用者の声に的確に応えるなど施設の信頼性向上に取り組むこと。
- 事業計画に沿った内容で経費を算定すること。
- 経費の削減に取り組み、市が支払う管理費用を抑える事業計画となっていること。

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	広報の充実	自主事業等の広報掲載を20回以上	22回 自主事業8回 抽選会・休館 2回 HP 12回	A	積極的な広報活動が行われた。
	目標利用者数の達成	利用者数が日平均170人以上	57,875人 田舟の里:49,240人 グラウンド利用者:3,319人 運動公園利用者:5,316人 開館日数282日 1日=205人	B	指標人数を達成できたことは評価する。収入増に繋がる温浴施設の利用者増に更なる努力を求めます。
	多目的ホール達成	年間利用時間数が170時間以上	269時間	A	指標時間数を大幅に達成された。
	個人情報保護の管理体制	管理体制が整っているか。	個人情報について研修2回実施	B	適正な対応が行われた。
	利用者からの要望や苦情の対応	アンケート用紙は常設し、利用者への回答を掲示しているか。	常設し回答を必要に応じて掲示した。	B	今後も利用者の声を吸収できるよう心がけていただきたい。
	利用促進とサービス向上	自主事業等を年40回以上参加人数500人以上	59回 460人 積雪等の影響で自主事業を3回中止したことにより参加人数が伸びなかった。	B	お祭りやヨガ教室等のイベントや地元野菜販売が好評で利用者の促進を図ってくれた。
財務	経費削減の工夫	管理費用を抑える事業計画を行っているか。	PPS会社電気契約 浴室・トイレ水回りの節水器具取付	A	利用者の負担にならない程度に節水・節電を実施してくれた。
	市の歳入の増加	使用料収入がH28実績8,249,800円以上	8,119,400円	B	指標収入より約1%減なので努力を求めます。
業務	施設の維持及び衛生管理	レジオネラ属菌対策対応を年3回グラウンドは、常に使用可能な状態を維持する。	レジオネラ属菌対策で配管洗浄を年3回実施 植栽剪定伐採6回 グラウンド及び敷地除草6回	B	浴室の水質管理でレジオネラ属菌対策を予定より多く実施し衛生面の徹底が図られていた。なお、野球場内野部分が荒れていたことが見受けられたので、日常の管理方法にも検討
	災害・事故等の予防及び緊急時対応	遊具等付帯設備の点検を月1回以上、及び各種訓練年1回以上を行っているか。	公園内の巡回1日毎2回 遊具点検は月1～3回 消防訓練AED訓練2回	A	安全の徹底が図られた。
	事件・事故発生時の対応の適切	事故が生じた場合速やかに対応したか。	速やかに対応した。	A	救急車要請の事案があったが速やかに対応していた。
人材	配置人員のスキル習熟	定期的な研修等を行っているか。	管理人全員が普通救命講習終了証を取得し年2回の研修とミーティング開催	A	研修等を積極的に実施していた。
	配置人員の労働条件	労働関係法を遵守しているか。	法令を遵守した人員配置を行った。	B	法令を遵守し的確な人員配置で業務を行った。

【評価基準】
A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
B: 要求水準(評価指標)が達成されている
C: 要求水準(評価指標)が達成されていない
※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

安全面の強化として、各種独自の点検表に基づき点検・巡回を継続して実施しています。自主事業では、運動教室を定期開催し、ヨガ教室は11年目に入ります。併せて、年1回の田舟まつりも好評と受け止めています。また、日ごろから利用者の趣味を発表する場として写真などをロビーに展示しています。運動公園は、植栽・ランナーズ花壇も充実させており、芝生部分を活用して定期的にトリップボールの練習にも使用していただいております。また、グラウンドではサッカーゴール・野球の得点板・ベンチ等がリニューアルされております。今後は定期継続開催できる自主事業を増やして、更なる集客に努めていきたいと思っております。

所管課による総合評価(所見)

新規の自主事業イベントを増やし広報PRも積極的に行った結果、多目的ホールの利用率につなげてもらった。また、浴室等の衛生管理について、検査を念入りに行い衛生面の徹底を図ってもらった。一方、改善点として、グラウンドの管理について、自転車の乗り入れや野球場使用後の原状回復不備などがあり、目が行き届いていない部分があると感じたので改善の検討を願いたい。今後も継続していただき更なる利用者増に努めるよう期待する。